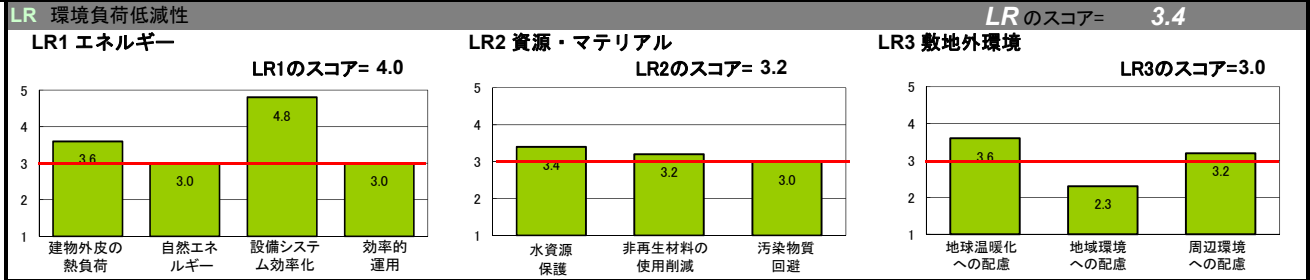
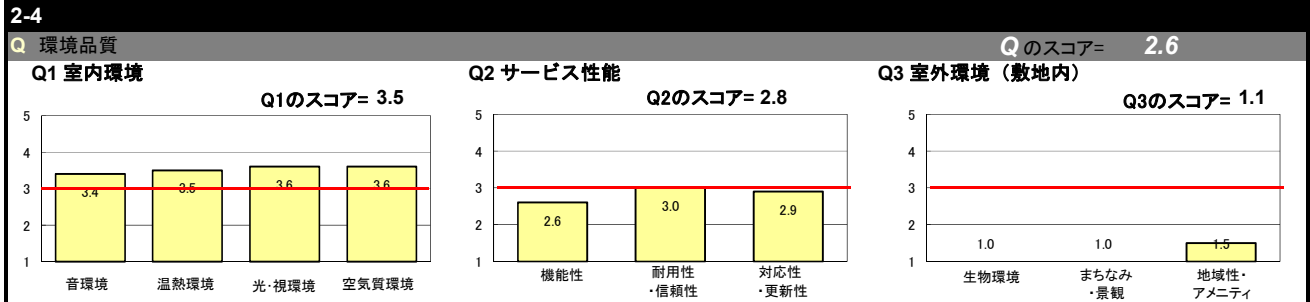
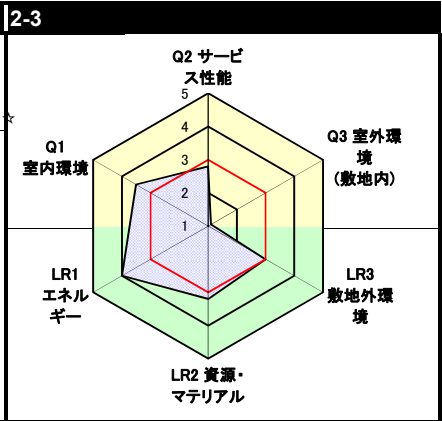
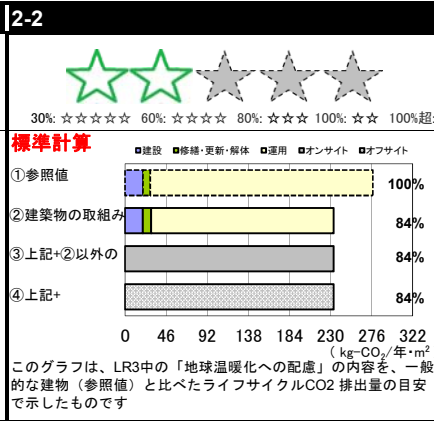
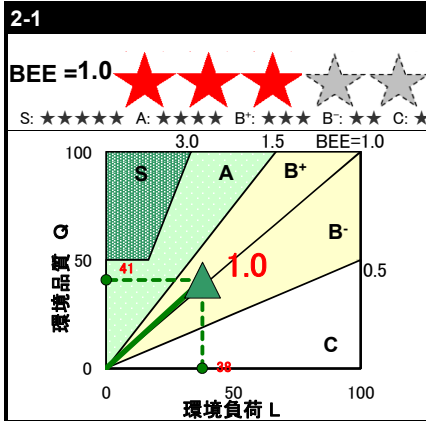




1-1		1-2	
建物名称	アルバ長者町 新築工事	階数	地上10F
建設地	横浜市中区長者町1-1-4	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	70 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店・集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 竣工	評価の実施日	2017年10月4日
敷地面積	223 m ²	作成者	有限会社宮本建築設計事務所
建築面積	191 m ²	確認日	2017年10月4日
延床面積	1,204 m ²	確認者	有限会社宮本建築設計事務所

外観パース等



3 総合		その他
<p>高齢者優良賃貸住宅のため、スロープ、手すり等、バリアフリーとしている。 外観については茶色系の落ち着いた色合いとしている。</p>		<p>横浜市高齢者向け地域優良賃貸住宅</p>
<p>Q1 室内環境 住宅の専有部分について、高い遮音性や昼光率を確保している。また、F☆☆☆☆の建材を採用するなど、室内環境の向上に努めている。</p>	<p>Q2 サービス性能 建物の階高にゆとりを持たせ、維持管理に配慮した設計としている。また、空調・給排水の配管について更新対策に配慮し、建物のサービス性能に配慮した設計としている。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) 標準的な配慮を行っている。</p>
<p>LR1 エネルギー 住宅部分について、断熱性能等級4とし、建物全体のBEIを0.83としている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 節水に配慮した器具や躯体材料以外にリサイクル材を採用するなど、資源・マテリアルについて配慮した設計としている。</p>	<p>LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO2排出率84%とし、光害対策にも配慮するなど、敷地外環境の向上に努めている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



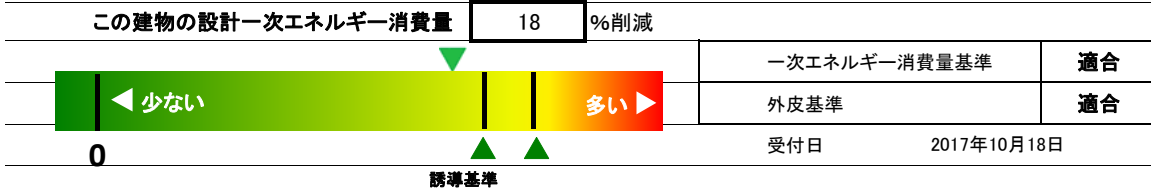
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **アルバ長者町 新築工事**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **4**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①住宅部分:断熱等性能等級4

③BEI=0.83

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **4**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当)

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

⑥適切な換気計画を行っている

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯主要2用途にBを使用、Eは不使用

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **1**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
エネルギーマネジメントシステム導入	



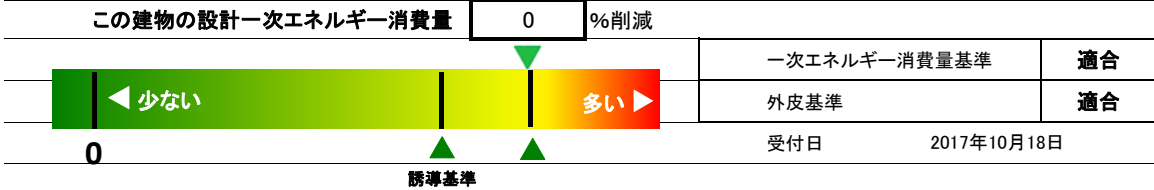
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **アルバ長者町 新築工事**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 2**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①住宅部分:断熱等性能等級4

③BEI=0.83

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【快適・働きやすさ】 3**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑩レースカーテンとバルコニーで昼光制御

⑪F☆☆☆☆の建材を採用

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰主要2用途にBを使用、Eは不使用

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 1**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
エネルギーマネジメントシステム導入	